令和７年度　市民意識調査の結果　概要版

調査目的および実施概要

（１）調査の目的
　仙北市を幸福度全国ナンバー１とするため、市民の日常生活と意識・行動を明らかにし、その結果を施策立案の基礎資料や、施策展開のための客観的データとして活用することを目的としています。

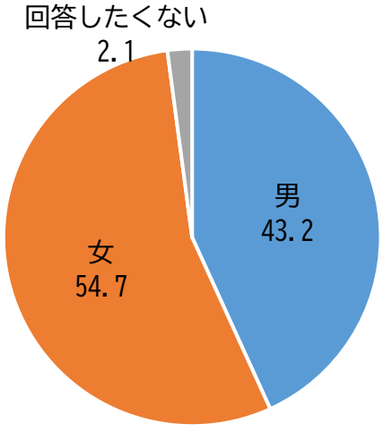
（２）調査の内容
１．幸福度
２．地域への愛着やあるべきまちの姿
３．普段の活動や暮らし
４．市の施策への満足度・重要度

（３）調査の設計
１．調査対象：令和7年4月3日現在で市内に居住する満18歳以上の男女個人
２．標本数：3,000人
３．抽出方法：18歳以上の各年代別の地区別人口の構成比に応じて無作為抽出
４．調査方法：郵送による調査票の配布
　郵送及びインターネットによる回答
　（※無回答は除き集計）
５．調査期間：令和7年5月2日(金)～5月20日（火）

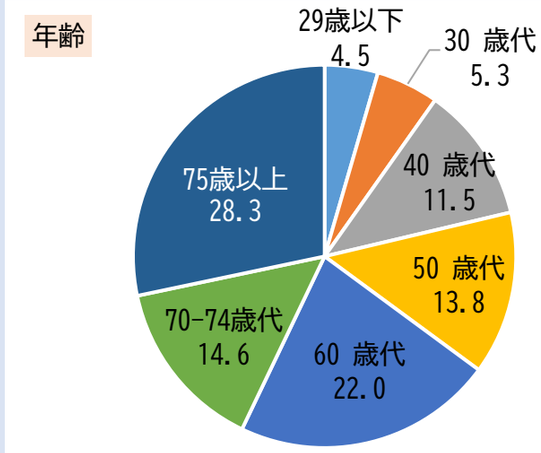
（４）回収結果
１．有効回答数：1,143人（有効回答率38.1%）

回答者について

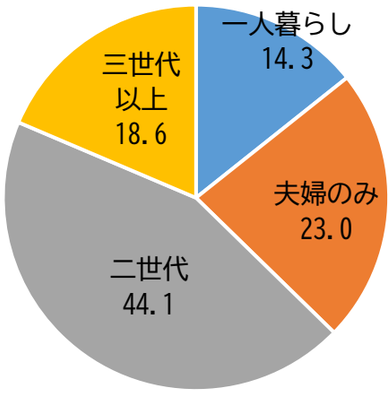
男女別



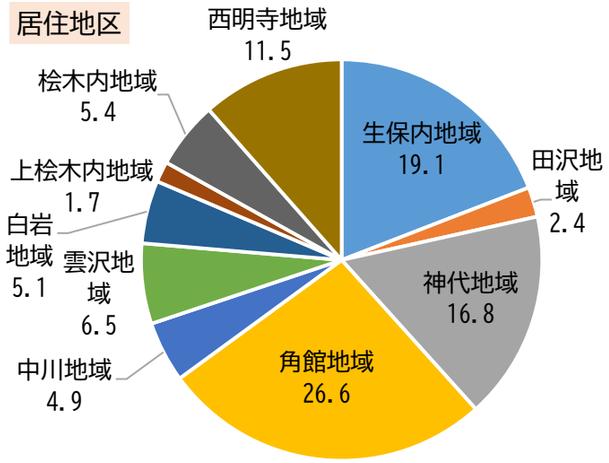
年齢



家族構成



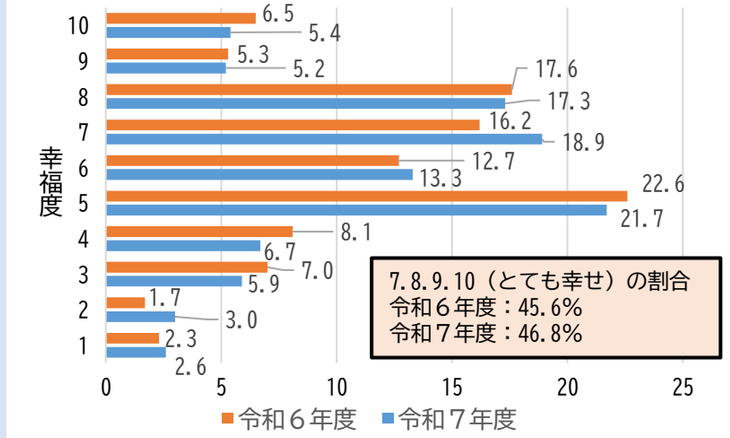
居住地区



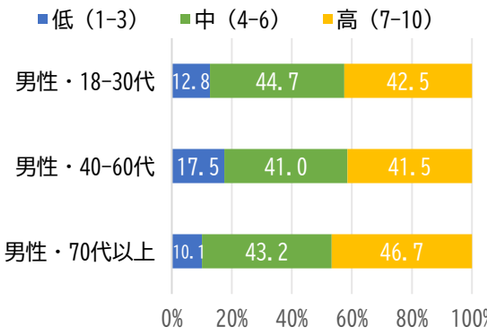
幸福度について

◆幸福度（１～10段階評価）について
　「とても不幸」を１点、「とても幸せ」を10点として、現在どの程度幸せであるかをお伺いしたところ、不幸でも幸福でもない中間の「５」を回答した方が多い結果となっています。
　また、幸福度（１～10段階評価）の「１～３」を幸福度「低」、「４～６」を幸福度「中」、「７～10」を幸福度「高」と分類し、幸福度を性別と年代別でみてみると、昨年度と比較し男性の幸福度は上昇しているのに対し、女性の幸福度は低下しましたが、女性の方が幸福度において全体的に高い傾向となりました。

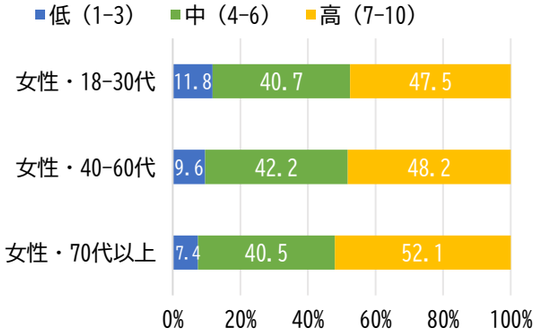
令和７年度と令和６年度幸福度比較表



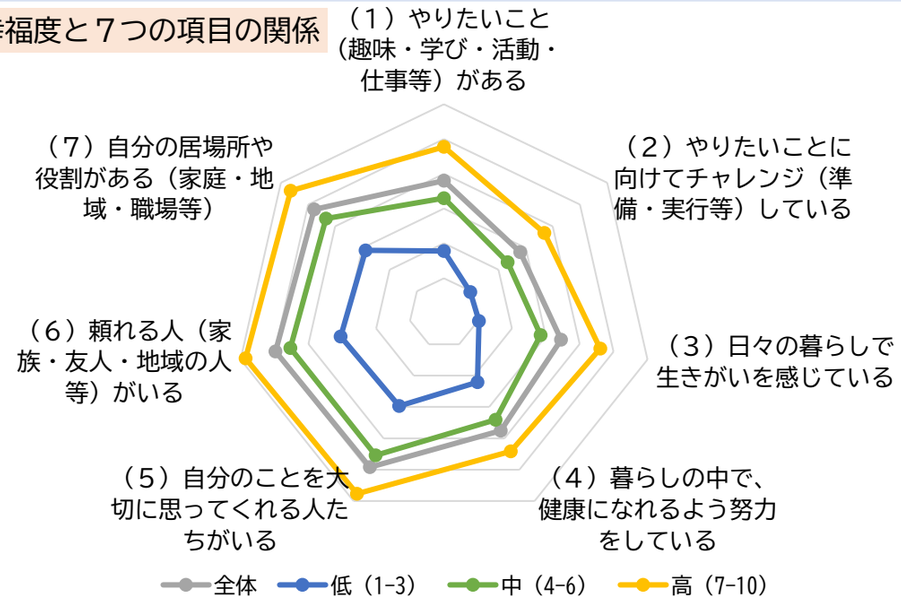
年代別・性別（男性）の幸福度



年代別・性別（女性）の幸福度



幸福度と７つの項目の関係



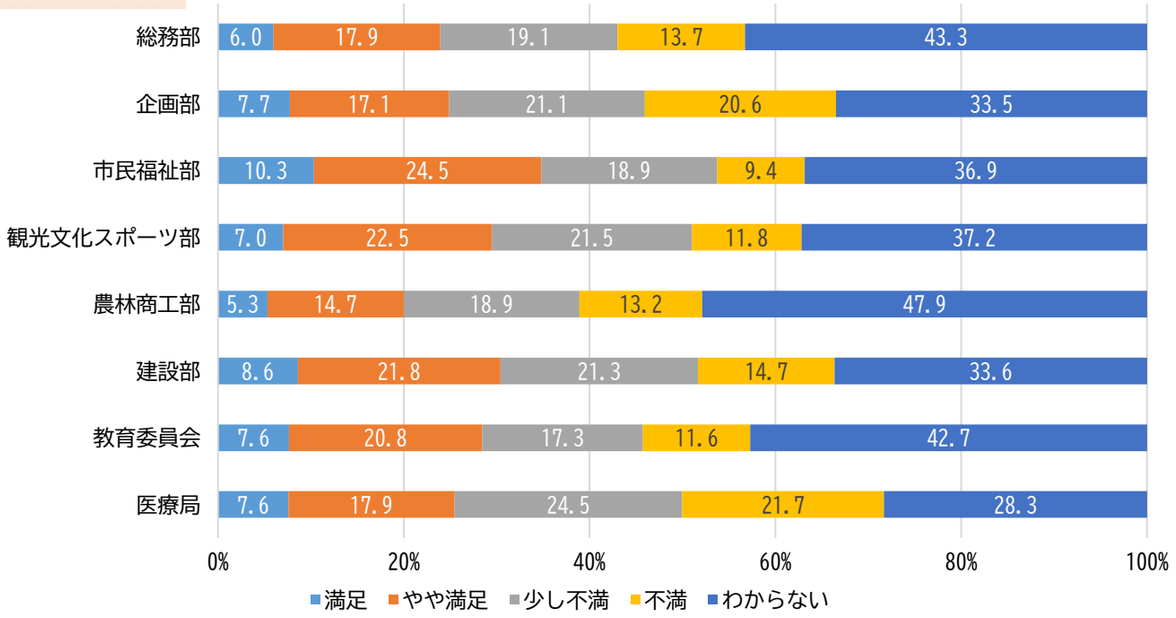
◆７つの項目と幸福度の関係
　幸福感につながる７つの項目について分析したところ、７つの項目の数値が高い方ほど幸福度が高いという傾向がわかります。

令和７年度　市民意識調査の結果　概要版

施策の満足度と重要度

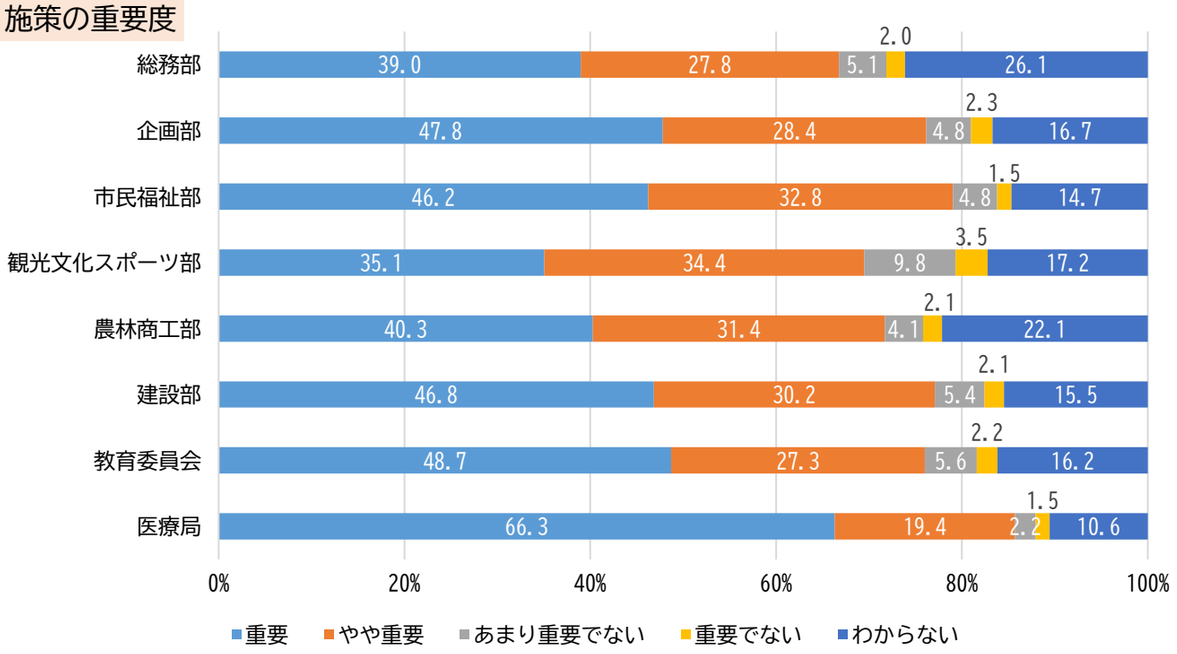
第２次仙北市総合計画(改訂版)で定めた施策に対して現在の満足度と今後の重要度をお伺いし、８つの部局にまとめて集計分析しました。

施策の満足度



「市民福祉部」、「観光文化スポーツ部」、「建設部」、「教育委員会」の施策の満足度は高い結果となりました。また、「総務部」、「農林商工部」、「教育委員会」の施策については「わからない」という回答が多い結果となりました。

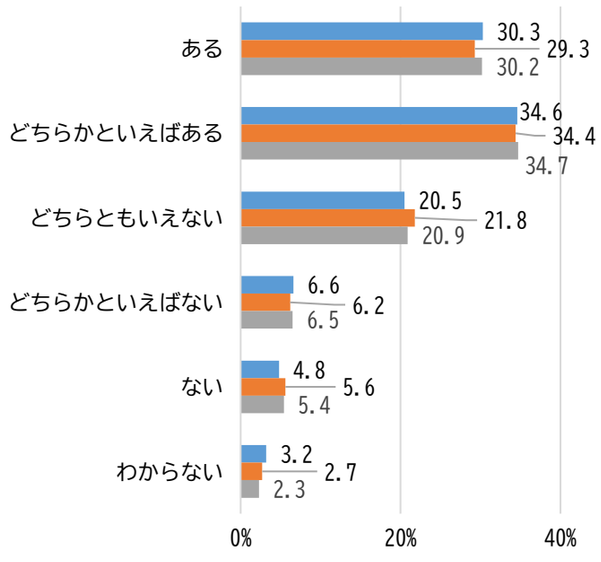
施策の重要度



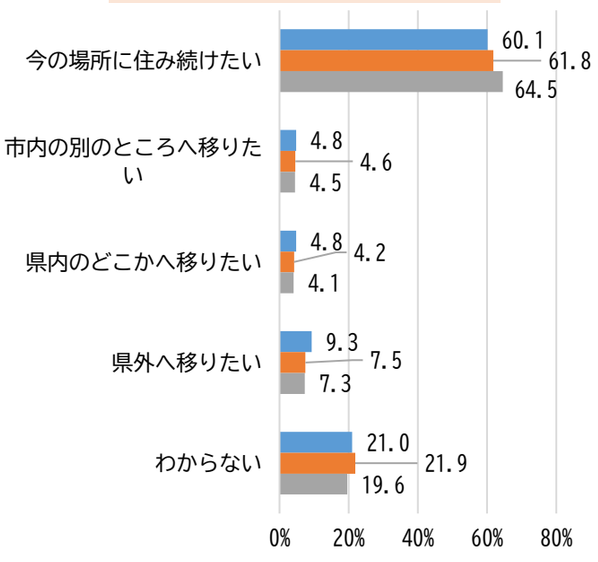
施策の重要度は、市民生活に直結している施策が高い傾向にあり、特に医療分野の突出した高さが目立つ結果となりました。

住んでいる地域への愛着など

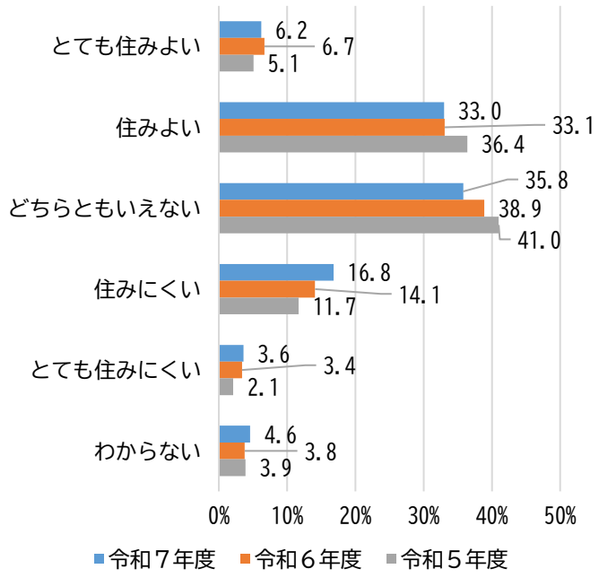
住んでいる地域への愛着がありますか



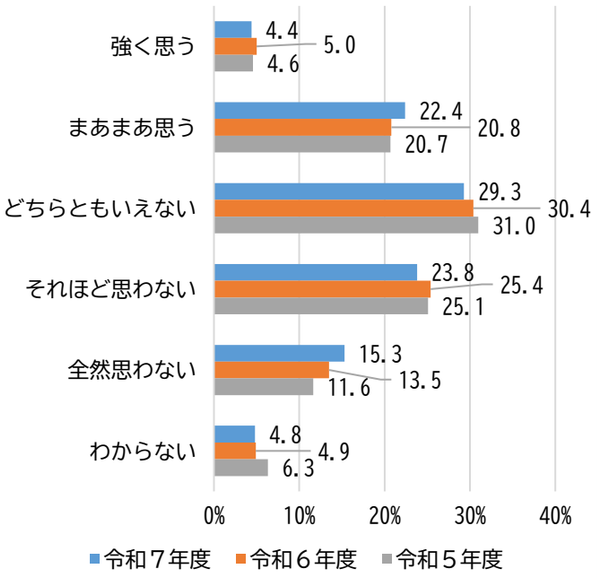
これからも仙北市に住み続けたいと思いますか



仙北市の住みやすさについてどう思いますか



自分の家族や友人に仙北市への移住・定住を勧めたいと思いますか



「住んでいる地域への愛着」、「これからも住み続けたいか」、「住みやすさ」、「移住定住を勧めたいか」という４つのすべての質問について、多少の上下はあるが、ほぼ横ばいの結果となっている。